

令和5年度大阪府南河内医療・病床懇話会 議事概要

日時: 令和6年1月10日(水)午後2時から午後4時

開催場所: 南河内府民センター 講堂

出席委員: 21名(代理出席者1名含む)

藤岡委員、山口委員、木下委員、加藤委員、藤本委員、宋委員、中西委員、
阪本委員、伊原委員、寺元委員、赤松委員、村井委員、喜田委員、緒方委員、
森氏(向井委員の代理出席)、舟本委員、村本委員、新田委員、子安委員、田村委員、
池西委員

■議題1 第8次大阪府医療計画の概要と基準病床数について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料 1-1】第8次大阪府医療計画(素案)概要

【資料 1-2】「新興感染症の発生・まん延時における通常医療の提供体制確保」(素案)概要

【資料 1-3】第8次医療計画における基準病床数設定と今後の対応について

【資料 1-4】第8次大阪府医療計画 策定スケジュール(令和5年度後半)

質問・意見は、特になし。

■議題2 新興感染症の協定締結の状況について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料2】感染症法に基づく医療機関との協定締結について(南河内二次医療圏)

【資料2(別添)】感染症法に基づく医療機関との協定締結南河内二次医療圏医療機関別
協議状況 一覧

質問・意見は、特になし。

■議題3 第7次大阪府医療計画最終評価・第8次大阪府医療計画 圏域編(案)について

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料 3-1】第7次大阪府医療計画 最終評価 南河内二次医療圏における医療体制

【資料 3-2】第8次大阪府医療計画 南河内二次医療圏における医療体制(素案)

質問・意見は、特になし。

■議題4 令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料4】令和5年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・南河内二次医療圏)
- 【参考資料1】過剰な病床の状況
- 【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況
- 【参考資料3】地域医療構想に関する各種データHP公表について
- 【参考資料4】南河内二次医療圏における各医療機関の診療実態
- 【参考資料5】南河内二次医療圏における各医療機関の入退棟経路
- 【参考資料6】南河内二次医療圏における回復期病棟への転院・転棟等にかかる状況
- 【参考資料7】地域医療構想の推進にかかる支援策

質問・意見は、特になし。

■議題5 令和5年度南河内二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料5-1】令和5年度病院プラン結果概要(大阪府・南河内二次医療圏)
- 【資料5-2】令和5年度病院プラン(抜粋)医療機関別一覧(南河内二次医療圏)
- 【資料5-2(別添)】公立病院経営強化プランの策定について
- 【資料5-3】非稼働病床の現況について(南河内二次医療圏)
- 【資料5-4】令和5年度南河内病院連絡会結果(概要)
- 【参考資料8】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)
- 【参考資料9】重点支援区域について

資料に基づき、近畿大学より説明。説明後、質疑応答。

- 【追加資料】近畿大学病院移転後の後継医療機関候補の概要(現時点での計画)

資料に基づき、市立藤井寺市民病院から説明。説明後、質疑応答。

- 【追加資料】市立藤井寺市民病院の閉院(廃院)について

【各病院の対応方針(病院プランにおける2025年に検討している病床機能等)】

(1) 公立・公的病院

質問・意見は、特になし。

(2) その他、民間病院等

質問・意見は、特になし。

【近畿大学病院移転後の後継医療機関の候補】

(質問)

○近畿大学病院移転後の跡地は広大であるのに、119床のリハビリテーション病床だけの整備になるのか。他に病床機能を再編統合するといった予定はないのか。

(近畿大学の回答)

○後継病院は1病院で、敷地の一部を利用する予定。全体の跡地利用については、開発事業者と協議しており、商業施設を誘致する等を検討しているが、行政とも協議をしながら進めたい。

(意見)

○地域医療構想において、リハビリ病床の不足を指摘されているが、実際の在院患者数は減少傾向。また、回復期リハ病床の稼働率は2022年度80%台と報告されているが、この病床の稼働率としてはかなり低く、現場の感覚としては、本当に回復期が不足しているのか疑問を感じる。そのような状況で、近畿大学病院の後継病院として回復期を119床整備するのは疑問がある。しっかり検証してもらいたい。

(事務局の回答)

○全体の入院患者数が減少している中、回復期においては、現在横ばいであるが、コロナ禍前は増加傾向であった。稼働率は、他の入院料と比較すると高く、将来推計人口の予測から回復期リハビリテーション病棟は特に増加が見込まれる入院料であり、需要があるものと考えている。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

質問・意見は、特になし。

【重点支援区域の申請(申請しないことについて)】

質問・意見は、特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

質問・意見は、特になし(申請医療機関なし)。

■議題6 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料 6-1】地域医療への協力に関する意向書提出状況(南河内二次医療圏 診療所新規開設者)
【資料 6-2】地域医療への協力に関する意向書提出状況(南河内二次医療圏 医療機器新規購入・更新)

質問・意見は、特になし。